

共立女子大学コレクション

武家女性の暮らし

— 美しきものに囲まれて —



2010.2.25(木)～4.22(木)
9:30～17:30 入場無料
除く日曜・祝祭日
及び3月10日(水)～13日(土)

共立女子大学

神田一ツ橋キャンパス本館1階展示室

- ◆東京都千代田区一ツ橋2-2-1 TEL 03-3237-2425
- ◆交通 東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線
都営地下鉄新宿線
「神保町」駅下車A8出口から徒歩1分
東京メトロ東西線
「竹橋」駅下車1b出口から徒歩3分



武家女性の暮らし

— 美しきものに囲まれて —

平安時代中期以降、社会の混乱の中で身を起こした武家は、その末期には政治的な力も持つようになり、やがてその身分を確立し、幕府を開いて鎌倉時代が始まりました。室町時代から戦国の世を経て、江戸時代になり、幕藩体制のもとで武家の世は安定したものとなりました。三百年の平和の中で、身分に恵まれた上流武家女性においては、日常の中で美しさに囲まれた優雅な生活を送ることができました。

衣服に関しては、武家男性が比較的形式化した服装を強いられたのに対し、武家女性にあっては、町人女性ほどではないにせよ、自由な選択が許され、流行も生まれました。今回の展示では、武家が使用したと思われる江戸時代中期から後期にかけての調度品や、武家女性の衣服などを展示して、上流武家女性の生活がいかに美に囲まれたものであったのかをご覧いただきたいと思っております。



伊勢物語かるた 江戸時代・18世紀



萌黄地牡丹御簾模様錦提帯 江戸時代・18~19世紀



紫縹子地流水花筏蝶模様帯 江戸時代・18世紀



梅金銀蒔絵香枕 江戸時代・18世紀

(表・上) 白縹子地藤桜唐扇模様打掛 江戸時代・18~19世紀

(表・下) 蒔絵化粧道具 江戸時代・18世紀